

瑞穂っ子だより

～ かしこく やさしく たくましく ～

瑞穂小学校新聞 第6号
平成26年8月20日(水)

夏休み残りわずか

長い夏休みがいよいよ残りわずかとなっていました。各ご家庭では、2学期に向けて宿題などの追い込みに入る頃だと思います。元気にたくましくなって夏の思い出話を聞かせてもらえることを楽しみにしています。本号では夏休みにあった主な行事について紹介します。

7月21日(月) 石川県小学生陸上競技大会

金沢市西部緑地公園内にある陸上競技場で行われました。瑞穂小学校からは4年生から6年生まで、15名の選手が羽咋市代表として参加しました。

この日は炎天下での大会でしたが、選手は、日頃の練習の成果を発揮すべく一生懸命に競技に取り組んでいました。石川県下全域から選ばれた選手が集う大きな大会でしたが瑞穂小の選手の多くが自己ベスト記録を出すことができました。

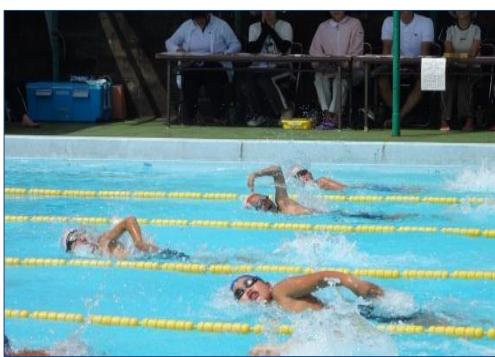
応援に駆けつけてくださったお家の方々や、これまでご指導くださった平野さんに心より感謝いたします。

<主な結果>

(女子) 1000M 第5位 南 和希, 第6位 徳和奈菜
(男子) 4年 100M 第8位 濱名壱晴



7月29日(火) 羽咋市小学校水泳記録会



羽咋小学校プールで羽咋市6小学校の選手が一堂に会し、恒例の水泳記録会が行われました。

この日も非常に暑い日でしたが、子ども達は自己ベスト記録を目指して頑張りました。また、出番を待つテンントの中でも、声を揃えてまとまつた応援をしていました。それぞれに目標を持って練習を繰り返し、成果をためすことは水泳だけにとどまらず、いろいろな場面でも自信につながります。水泳記録会は子ども達にとって夏の貴重な体験となりました。

<主な結果>

(女子) 4年 50M自由形 第3位 松榮 唯乃
5年 50M自由形 第1位 澤田 乃里, 第2位 東野 姫花
5年 50M平泳ぎ 第1位 東野 姫花 5年 50M背泳ぎ 第1位 澤田 乃里
4年 200Mリレー 第3位 (松榮, 松生, 濱名, 前田)
5年 200Mリレー 第2位 (澤田, 東野, 松田, 崎田)

8月4日（月） 5年生 とき保育園年長児との交流

連日、猛暑日が続く中、とき保育園の年長さんが本校にやってくれました。来年6年生になる本校5年生とのプール交流会です。5年生はこの日に向け、どのような活動をしようか自分たちで企画し、当日も意欲的に進行してくれました。そして、大きなプールに入るのが初めての園児たちを気遣い、優しく言葉かけしながら楽しいひとときを作り上げていました。

交流会の最後に、感想を聞くと、年長さんたちはきちんと手を挙げ、前に出て発言してくれました。さすが年長さん、しっかりした受け答えや素早い行動に感心しました。来年が楽しみです。



8月6日（水） 6年生 富永老人会との交流



富永老人会の皆さんのお世話で交流会が開かれました。この日は、最初に輪投げゲームをし、その後、場所を富永公民館に移しておいしいカレーライスをごちそうしてもらいました。

毎年、6年生はこの時期に富永老人会の皆さんと交流会を行っています。この活動を通して、日頃の交流の輪が広がり、地域を大切にする心や人を思いやる心を育てることにつながればと願っています。お世話してくださいました老人会の皆さんに感謝申し上げます。

＜ゲームの時間と学力の相関関係は？ 瑞穂小の場合＞

4月に実施された県基礎学力調査の結果と生活アンケートの中から、特徴的なものを紹介します。

「学校の宿題はしているか」の質問に対し、「している」と肯定的に答えた児童と「あまりしていない」と否定的に答えた児童の学力調査の正答率を比べると、国語では18ポイント、算数では30ポイント肯定的ご回答の子が上回っていました。つまり、宿題をやってきている方が正答率は高いということです。同様に「毎朝、朝食を食べていますか」の質問では、国語21.6ポイント、算数28.9ポイント、朝ご飯を食べている児童の方が正答率は高かったです。また、「1日あたりのゲーム時間」では、全くしないと答えた児童と、2～3時間していると答えた児童を比べると、国語11ポイント、算数2ポイント、ゲームを全くしていない子の正答率が高いという結果でした。最後に「自分にはよいところがある」と答えた児童と「ない」と答えた児童では、国語33.4ポイント、算数で46.5ポイントと、「よいところがある」と答えた児童の方が、正答率が高いという大きく差が出る結果となりました。

これらの結果から「早寝・早起き・あさごはん」や「家庭でのゲームの仕方」など、日頃、ご家庭でも学校でも大切にしていることが、学力の向上に大きく関わっていることが分かります。

また、「自分にはよいところがある」という自己肯定感と学力との関係も明らかになりました。これらの結果を、私たち大人もしっかり受け止め、子ども達のよいところや頑張っていることを積極的に認め励まし、自信へつなげていきたいと考えています。

この後、国の学力調査の結果も返ってきます。引き続き結果を有効に活用しながら学力向上と、その先にある子ども達の自己実現への力を付けるために、力を尽くしていきたいと思います。どうか、学校の方針をご理解いただき、ご協力をお願いします。

